

身体に障がい等のある受験者に対して配慮する事項

対象となる者		特別に配慮する事項（審査の上特別に認められる事項）					
		必ず行う事項				受験者からの希望により特別に認められる事項（例）	
		解答方法	試験時間	試験室	試験室で用意されるもの		
視覚障害者	日常生活で点字を使用している者	点字による出題・解答	1.5倍（180分）	別室	点字問題冊子 点字用解答用紙	<ul style="list-style-type: none"> ・録音テープ等試験問題（CD（コンパクトディスク））の併用 ・試験会場への乗用車での入構 ・点字器等の持参使用 ・試験室までの付き添い者の同伴 	
	上記以外の強度の弱視者で良い方の目の矯正視力が0.15未満の者	文字による解答	1.3倍（156分）	別室	文字解答用紙	<ul style="list-style-type: none"> ・拡大文字問題冊子の配布（文字の拡大率が一般試験問題の1.6倍、面積倍率は一般試験問題の2.7倍） ・拡大鏡等の持参使用 ・窓側の明るい座席を指定 ・照明器具の準備 	
	上記以外の視覚障害者	比較的重度の者	文字による解答	一般受験者と同じ	別室		文字解答用紙
		上記以外の者	なし（一般受験者と同じ）				
聴覚障害者	両耳の平均聴力レベルが100デシベル以上の者	なし（一般受験者と同じ）				<ul style="list-style-type: none"> ・手話通訳者の付与 ・注意事項等の文書による伝達 ・座席を前列に指定 ・補聴器の持参使用 	
	上記以外の聴覚障害者	なし（一般受験者と同じ）				<ul style="list-style-type: none"> ・注意事項等の文書による伝達 ・座席を前列に指定 ・補聴器の持参使用 	
肢体不自由者	体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者	チェックによる解答	1.3倍（156分）	別室	チェック解答用紙	<ul style="list-style-type: none"> ・介護者の付与 ・試験室を1階に設定 ・洋式トイレに近接する試験室に指定 ・特製機の持参使用又は試験側での準備 ・車いすの持参 ・つえの持参使用 ・試験室までの付添者の同伴 ・試験会場への乗用車での入構 	
	両上肢の機能障害が著しい者						なし（一般受験者と同じ）
	下肢の機能障害により歩行をすることができない者又は困難な者	チェックによる解答	1.3倍（156分）	別室	チェック解答用紙		
	上記以外の肢体不自由者						比較的軽度のもの
その他病弱者等	慢性の胸部、心臓、腎臓疾患等の状態で6月以上の医療・生活規制を必要とする者又はこれに準ずる者	なし（一般受験者と同じ）				<ul style="list-style-type: none"> ・別室の設定 ・試験室を1階に設定 ・つえの持参使用 ・試験室までの付添者の同伴 ・試験会場への乗用車での入構 	
その他	障害等を併せもつ者	障害又は病弱の種類・程度に応じ、上記のそれぞれの該当の欄に記載の事項					